

平成19年12月19日

苦戦の長距離フェリー、モーダルシフトの推進で復調を！

～ 長距離フェリー航路の輸送実績(平成19年度 上半期 4月～9月) ～

平成19年度上半期(4月～9月)の九州と阪神、京阪を結ぶ長距離フェリー航路の輸送実績の概要は次のとおりです。

< 問い合わせ先 >

九州運輸局 海事振興部 旅客課

担当：川上・樋口

092-472-3155

九州発着の長距離フェリー航路【6社8航路】

今期の輸送実績については、平成18年度同期と比較し、旅客、バス、乗用車、トラックと全てにおいて全体で前年度を下回っています。

原因としては、2航路が廃止(博多～直江津、大分～横須賀)されたことや各社が導入しているバンカーサーチャージ(燃料油価格調整金)が他の輸送機関や高速道路のETC割引料金と比べ割高感が生じているため利用者が離れたものと思われます。

一方、トラックは全体では対前年比4.6%減となっていますが、九州～阪神間が小幅ながら引き続き増加の傾向にあります。これは、省エネ法による物流部門の取組み及びドライバーの労働時間短縮など企業の意識が高まっていることから長距離フェリーが活用されているものと見られます。

今後もこの輸送コスト削減と環境負荷の低減の意識が高まることで、モーダルシフトが推進され、輸送量の増加が図られることを期待するところです。

種 別	輸 送 量	前年度比
トラック	43万6千台	4.6%減
乗用車	28万5千台	5.4%減
バス	3千台	0.8%減
旅 客	114万7千人	1.6%減

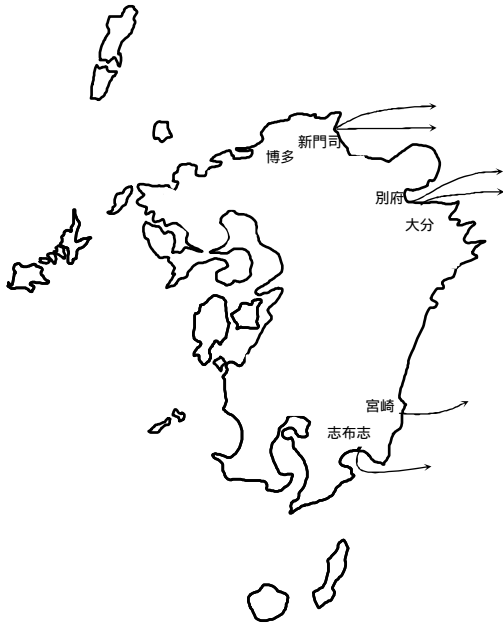
平成19年度 上半期 長距離フェリー航路輸送実績

	旅客 (人)	対前年度比%	バス (台)	対前年度比%	乗用車 (台)	対前年度比%	トラック (台)	対前年度比%	総自動車 (台)	対前年度比%
北九州～阪神	469,336.0	101.7%	1,784.0	109.6%	118,395.0	97.7%	194,208.0	100.7%	256,081.5	100.1%
中九州～阪神	(211,746.0)	(100.0%)	(230.0)	(89.1%)	(37,797.0)	(100.2%)	(70,159.0)	(103.4%)	(89,402.5)	(102.7%)
	448,841.0	95.9%	659.0	86.9%	77,761.0	95.9%	113,388.0	97.6%	153,257.0	97.1%
南九州～阪神	187,113.0	100.4%	256.0	85.9%	57,054.0	94.3%	74,934.0	101.9%	103,845.0	99.7%
小計	1,105,290.0	99.1%	2,699.0	100.6%	253,210.0	96.4%	382,530.0	100.0%	513,183.5	99.1%
北九州～京浜	(9,028.0)	(133.6%)	(200.0)	(103.1%)	(16,527.0)	(101.2%)	(27,141.0)	(95.0%)	(35,704.5)	(96.4%)
	26,393.0	109.8%	232.0	106.4%	29,220.0	96.1%	37,763.0	96.9%	52,721.0	96.7%
中九州～京浜	14,938.0	91.3%	0.0	0.0%	2,680.0	89.2%	16,175.0	71.9%	17,515.0	73.0%
小計	41,331.0	102.3%	232.0	106.4%	31,900.0	95.5%	53,938.0	87.7%	70,236.0	89.5%
合計	(892,161.0)	(101.1%)	(2,470.0)	(103.9%)	(232,453.0)	(97.4%)	(382,617.0)	(99.3%)	(502,548.5)	(98.9%)
	1,146,621.0	98.4%	2,931.0	99.2%	285,110.0	94.6%	436,468.0	95.4%	583,419.5	95.2%

- (注) 1. 「旅客」は、小人1名を0.5名として計上した。
 2. 「総自動車(8トントラック換算)」は、バス1台を1.5台、乗用車1台を0.5台、トラック1台を1台として計上した。
 3. ()内の数字は、中間寄港地を除く、起終点間の輸送実績。

長距離フェリー航路一覧表（九州に発着するもの）

平成19年11月1日現在



事業者名	航路名	航路距離	所要時間	航海数 (往復)	隻数	総トン数	旅客定員	航送能力	
								乗用車	トラック
阪九フェリー(株)	新門司～神戸	454.0	12:10	1/日 (月～金)	6	87,058	4,744	650	1,256
"	新門司～泉大津	458.0	12:00	1/日 (土・日)					
オーシャン東九フェリー(株)	北九州～徳島～東京	1,163.0	33:50	2/日 (月～金)	4	45,273	1,098	378	688
(株)名門大洋フェリー	大阪～門司	458.0	12:20	1.5/日 (土・日)	4	38,415	3,310	400	680
関西汽船(株)	大阪～別府	454.0	11:30	2/日	4	37,911	3,438	226	518
(株)ダイヤモンドフェリー	大分～神戸	420.0	11:30	2/日	3	27,933	2,826	48	423
"	志布志～大阪	583.0	13:40	1/日	2	24,833	1,564	280	350
宮崎カーフェリー(株)	宮崎～大阪	503.5	12:20	1/日	2	23,864	1,380	170	370
合計	6社	8航路			25	285,287	18,360	2,152	4,285

九州管内	4社	6航路	17隻	208,961 トン
他局管内	2社	2航路	8隻	76,326 トン
計	6社	8航路	25隻	285,287 トン

- (注) 1.九州運輸局調べによる。
 2.長距離フェリーとは、片道の航路距離が300km以上で、陸上輸送のバイパス的な旅客フェリーをいい、本土～奄美大島～沖縄航路を除いたものである。
 3.所要時間については、上下便の最短所要時間を計上。
 4.航送能力の乗用車については、乗用自動車の航送のみに係る自動車積載面積を10.4㎡で除した数を、トラックについては、自動車積載面積（乗用自動車の航送のみに係る自動車積載面積を除く）を26.4㎡で除して得た数を台数として計上。